

# 令和5年7月21日（金）子ども環境体験ツアー「自然とつながる未来都市」

## 日 程

豊川市役所 → もりの<sup>まなびや</sup>学舎(長久手市) → とよた<sup>エコフル</sup>ecoful town(豊田市) → 豊川市役所

## 当日の様子

今回の子ども環境体験ツアーは小学生15名が参加しました。

午前中は長久手市の愛・地球博記念公園内にある「もりの学舎」へ行きました。ここでは、インタープリター（森の案内人）の方と森の中で様々な体験をすることができます。

まず、森の中にいる危険な動物や植物について教えてもらってから、森の中を歩きました。今回は森の中で光を楽しむ体験をしました。鏡を使い、頭上の木を鏡に映してみたり、近くにあった植物の葉を鏡に映して観察すると、太陽の光が下から当たって森の緑がより鮮やかに見えました。



次に、各々が好きな葉っぱをガラス板に挟んで森のステンドグラスを作りました。皆の作品は一つずつ光に透かして眺めたほか、全員の作品を集めて鑑賞しました。

この後、もりの学舎の教室に入って光の小箱を作りました。光の小箱も全員の作品を集めて光にかざすと、きれいな光をたくさん見ることができました。



午後は豊田市の「とよた<sup>エコフル</sup>ecoful town」に行き、コンシェルジュの案内で施設を見学しました。



ここでは、持続可能なまちづくりや未来の都市の姿を展示やタブレット等で見たり体験ができるほか、水素ステーションやスマートハウスなど、新しい技術や取り組みについて見学することができます。

今回はパビリオンの見学から始まり、まず地球温暖化問題について学習しました。地球温暖化が進んで気温が上昇した将来の地球をシミュレーションで見せてもらい、温暖化を防ぐために持続可能なまちを目指すことについて考えました。SDGs 達成を目指した未来の都市のイメージを見せてもらったほか、電気自動車から電化製品に電力を供給するところも見学しました。

また、水素ステーションと燃料電池自動車、スマートハウスなども見学しました。今回の子ども環境体験ツアーでは、自然の体験や工作を通して森の大切さや面白さを知ったり、未来の都市のすがたを見ることができました。

### 参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・ いろいろな環境のことを学べて楽しかったです。
- ・ 光のことで、楽しんだり、みらいについてしておもしろかった。
- ・ 私は「SDGs」のことがとても気になっていました。今回、「とよた ecoful town」へ行って「SDGs」のことをよく知れてとても楽しかったです。

・・・など